

2003年7月4日

緊急耐震補強対策エリア外における新幹線ラーメン高架橋柱の耐震補強工事の着手について

5月26日に発生した東北地方での地震で東北新幹線の高架橋柱に損傷が発生したことに鑑み、阪神淡路大震災後に対策を実施した緊急耐震補強対策エリア(南関東・仙台エリアおよび活断層近接区間)以外についても高架橋柱の補強を実施することとしておりましたが、今回、下記の2箇所において7月10日に、補強工事の鋼板巻き作業に着手する見通しとなりましたのでご連絡致します。

(1) 東北新幹線 大宮～小山間 第1御門高架橋

(2) 東北新幹線 新花巻～盛岡間 第5猪鼻高架橋

なお、この他の地域においても、準備ができ次第、工事に着手致します。

(参考)

1. 耐震補強工法(別紙-1)

主にかみ合わせ継手を利用した鋼板による柱補強

2. 新幹線高架橋柱の耐震補強

路線名 (区間)	高架橋柱 総本数	耐震補強必要本数(本)				耐震補強完了 予定時期
		補強済み	今後補強予定		合計	
			優先地域 (全て高架下利用)	優先地域外		
東北新幹線 (東京～八戸)	51,100	2,700	100	9,600	12,400	平成20年度末
上越新幹線 (大宮～新潟)	26,000	300	0	5,400	5,700	
北陸新幹線 (高崎～長野)	5,000	0	0	0	0	-
合計	82,100	3,000	100	15,000	18,100	

上記数字は100本単位で整理したものです。

今後補強予定の本数は、耐震補強に関する診断の結果、変動する可能性があります。

東北新幹線の今後補強予定(優先地域)は、仙台エリア内の高架下を店舗等で利用している箇所であります。

3. 在来線高架橋柱の耐震補強(別紙-2)

南関東・仙台エリアの高架橋柱については、これまでに高架下利用箇所の柱を含めて約8,700本の補強が完了しております。今後は、残る高架下利用箇所の高架橋柱、約3,800本について社内に対策促進チームを新設し、協議方法や施工方法の改善を図り、対策の促進を目指します。

かみ合わせ継手を利用した場合の鋼板補強状況



耐震補強施工箇所

東北新幹線 大宮・小山間 第1御門高架橋

[住 所] 栃木県下都賀郡野木町大字南赤塚字新堀前

[最寄駅] 東北本線古河駅または野木駅

東北新幹線 新花巻・盛岡間 第5猪鼻高架橋

[住 所] 岩手県稗貫郡石鳥谷町関口第16地割

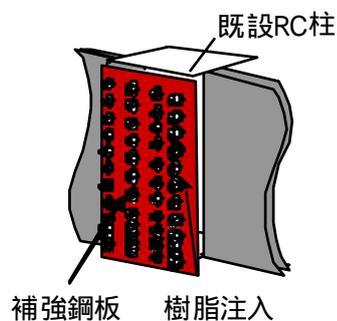
[最寄駅] 東北本線花巻空港駅または石鳥谷駅

なお、当日の現地のご取材については別途お知らせします。

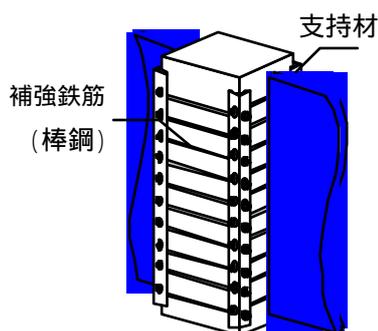
高架下を店舗等で利用している耐震補強工法

【店舗等で利用している箇所の補強工法】

一面補強工法



リブバー工法



【一般的な補強工法】

鋼板工法

